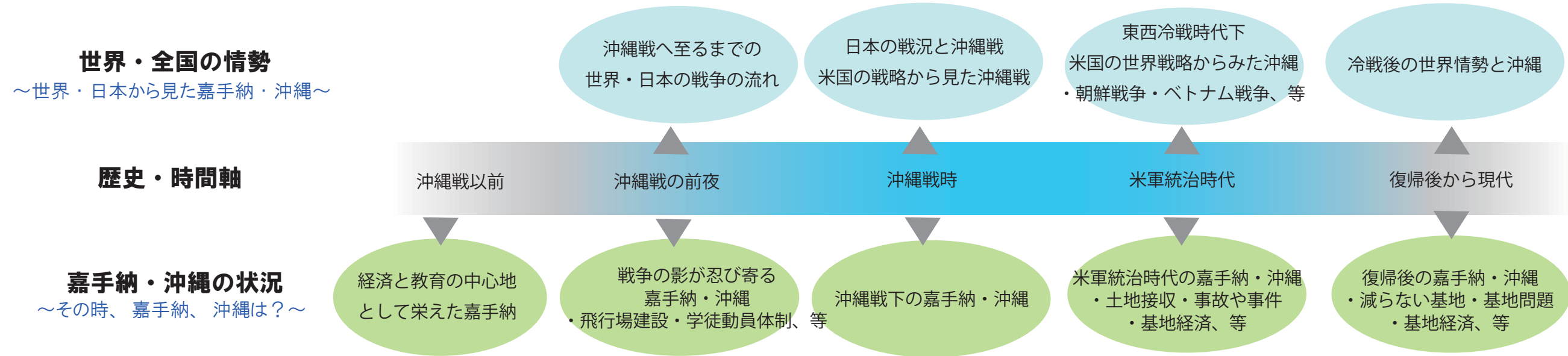


展示を構築するにあたっての基本方針

■ 展示の基本的な構造

嘉手納町になぜ基地があるのかを紐解くために、時間軸にそって歴史をたどりながら、世界・日本の情勢から見た沖縄・嘉手納の位置づけを探り、その時、沖縄・嘉手納はどうであったのか、嘉手納町になぜ基地があるのかを紐解いていく構造とする。



■ ストーリーに引き込む解説システムの工夫

嘉手納に住む“ぼく”の目線で語る。“ぼく”と“ぼくの家族”が見た沖縄、嘉手納、そして基地。

- ・各時代における家族の体験を通して、嘉手納町の歴史、沖縄戦、基地のはじまり、基地とともにある暮らしを語るところを部分的に導入。
- ・基地職員、教育者、社会人、学生など様々な立場からの視点で捉えた、基地の町の歩みや、多様な側面を描き出す。
- ・ぼくと家族との会話形式で解説を展開するなど、若い世代にもわかりやすく、身近に引き寄せて展示ストーリーに入りこめるよう工夫を凝らす。

《展開例》

“ぼく”の家族構成

- ・ぼく 15歳 (高校生)
- ・お兄ちゃん 24歳 (役場で働く社会人)
- ・お姉ちゃん 19歳 (沖縄の歴史を学ぶ大学生)
- ・妹 12歳 (嘉手納の小学生)
- ・お父さん 55歳 (基地職員、復帰時の子ども時代を過ごす)
- ・お母さん 50歳 (小学校の先生、復帰の年に生まれる)
- ・おじいちゃん 78歳 (町で商店を営む、子ども時代戦争を体験)
- ・おばあちゃん 75歳 (町で商店を営む、戦後に子育てを体験)
- ・ひいおじいちゃん 100歳 (飛行場づくりを体験、戦前の嘉手納で子供時代を過ごす)
- ・ひいおばあちゃん 98歳 (疎開を体験、戦前の嘉手納で子供時代を過ごす)



展示の全体の流れ

3 第32軍創設と飛行場建設 沖縄戦前夜の嘉手納

- 1941年、日本はアジア太平洋戦争に突入。マレー半島、スマトラ、フィリピン、ニューギニア、ガダルカナル等を次々に占領。しかしミッドウェー海戦を機に戦局が悪化、各地で敗退。
- こうした情勢を背景に、沖縄守備軍第32軍の創設、住民が駆り出されての県内各地の飛行場建設、県民が軍隊に組み込まれていく状況、10.10空襲等、沖縄が戦争に巻き込まれていく状況を、写真、資料、証言等を活用しながら物語る。

◆ハワイ真珠湾攻撃



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p147 (2021年発行)

◆ミッドウェー海戦



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p147 (2021年発行)

◆沖縄守備軍・第32軍創設



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p149 (2021年発行)

2 戦争以前の嘉手納 経済・教育の中心地・嘉手納町

- 現在の嘉手納町の姿から、一変して戦争前の嘉手納町へとタイムスリップ。かつての嘉手納町へと来場者を誘う。
- 豊かな自然に恵まれた嘉手納。加えて、本島のほぼ中央に位置するという地の利を生かして産業や商業、教育の中心として発展。
- 経済・教育の中心地として栄えた、かつての豊かな町の姿を古写真などを活用して、描き出す。

◆嘉手納大通り・商店街



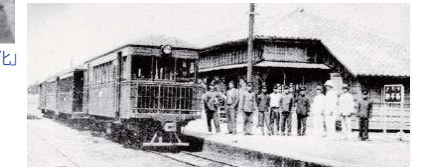
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p145 (2021年発行)

◆嘉手納製糖工場



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p141 (2021年発行)

◆軽便鉄道・嘉手納駅



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p143 (2021年発行)

4 米軍に占領された飛行場 沖縄戦と嘉手納

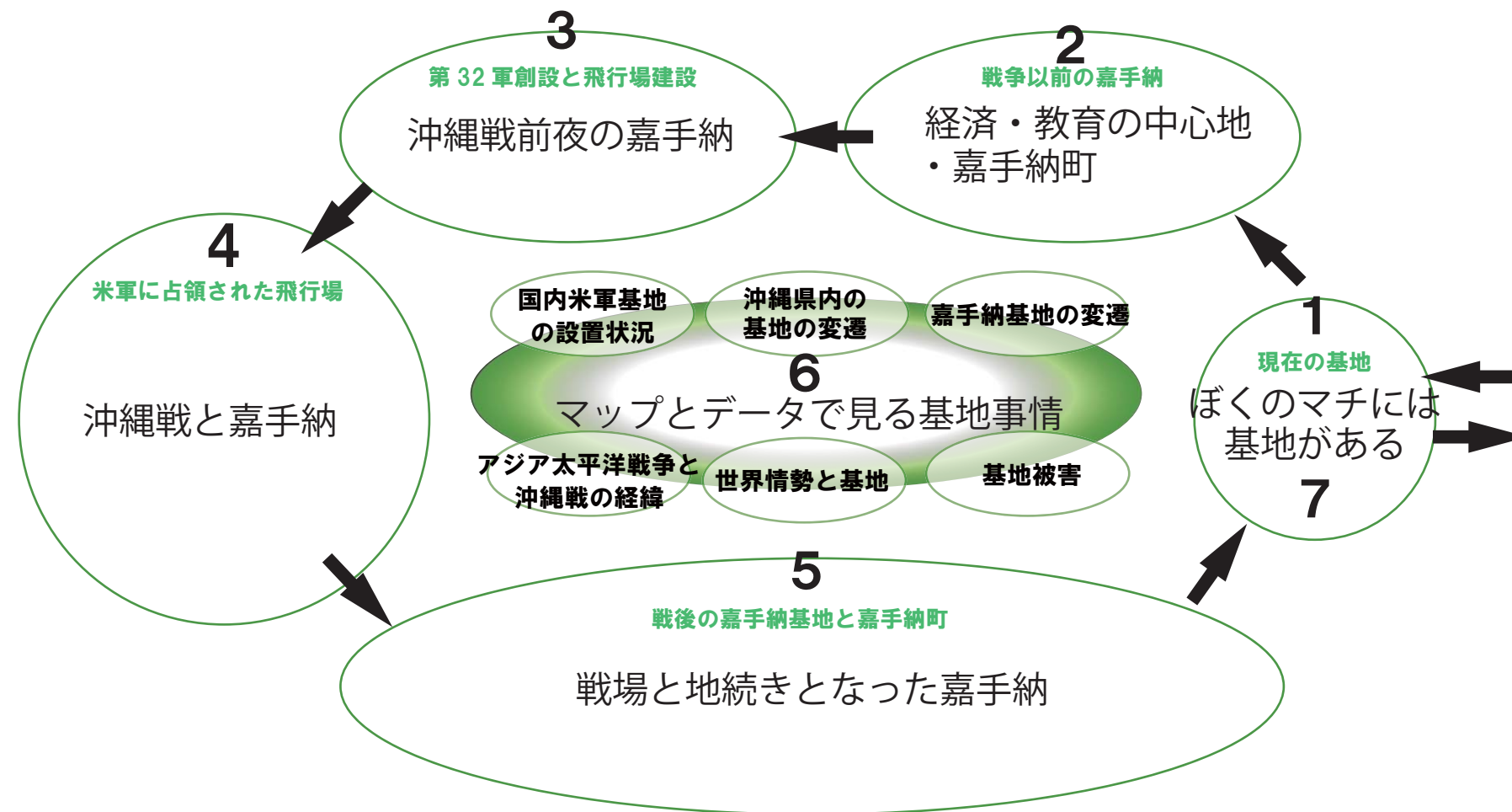
沖縄戦と嘉手納

- 1945年3月26日、米軍、慶良間諸島に上陸、4月1日、読谷山村から北谷までの海岸から本島に上陸。沖縄戦が始まる。
- 米軍によって占領され整備拡張されていく中・北飛行場や当時の嘉手納町の状況を伝えるとともに、沖縄戦の経緯やこの戦争が戦略持久戦として住民を巻き込んだ地獄の戦争であったことなど、沖縄戦の実相について物語る。
- 日本の降伏までを視野にいれる。
- 写真、動画、資料、証言等を活用して、ミニシアター的な展開を中核に据えた展示構成を想定。

◆水釜海岸から上陸する米軍



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p154 (2021年発行)



1 現在の基地

ぼくのまちには基地がある

- 来場者を最初に迎える場として、町の面積の約82%を米軍基地が占める、嘉手納町の現在の姿を航空写真やデータなどを使って分かりやすく紹介。
 - 基地だけでなく、豊かな自然や文化があることなどにも触れる。
 - 来場者を基地とともに歩んできた嘉手納町の物語に導く工夫として、生まれた時から基地のある町にくらしてきた「ぼく」を語り手とすることなども検討。
- ## 7
- 展示を見終わった来場者に、改めて基地の町・嘉手納を見てもらう。
 - 基地があっても未来に向かって元気に歩いていく嘉手納町のメッセージを発信。

5 戦後の嘉手納基地と嘉手納町 戦場と地続きとなった嘉手納

- 収容所から始まった沖縄の戦後の状況を物語るとともに、鮮明化してゆく冷戦の状況について辿りながら、これを背景として米国が押しすすめる沖縄県内への基地の整備拡張、及び沖縄の占領とその統治のあり方などを物語る。
- また、四原則や島ぐるみ闘争など、米国の強制的な土地接收に対する沖縄の人々の怒りと闘いを物語る。
- 朝鮮戦争やベトナム戦争で、嘉手納空港が前線基地として活用されていたことなどを伝える。
- 復帰後、冷戦終結後も縮小されない沖縄の基地とその背景を探る。

◆ベトナムへ向け待機中のB-52



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p202 (2021年発行)

6 マップとデータで見る基地事情

テーマ毎に、嘉手納基地や沖縄、全国、世界等を俯瞰して捉えた映像とデータを元に経緯等を提示。

嘉手納基地の変遷

沖縄戦時から今日に至るまでの、嘉手納基地の変遷を航空写真、マップ、データ等でたどる。

沖縄県内の基地の変遷

沖縄県内に設置された基地を、沖縄戦時から今日に至るまで、航空写真、マップ、データ等でたどる。

国内米軍基地の設置状況

終戦以降の、日本全国の米軍基地の設置状況を辿る。

基地被害

嘉手納はじめ、県内で起こった基地被害をマップ上で辿るとともに、嘉手納町民の調査結果なども紹介。

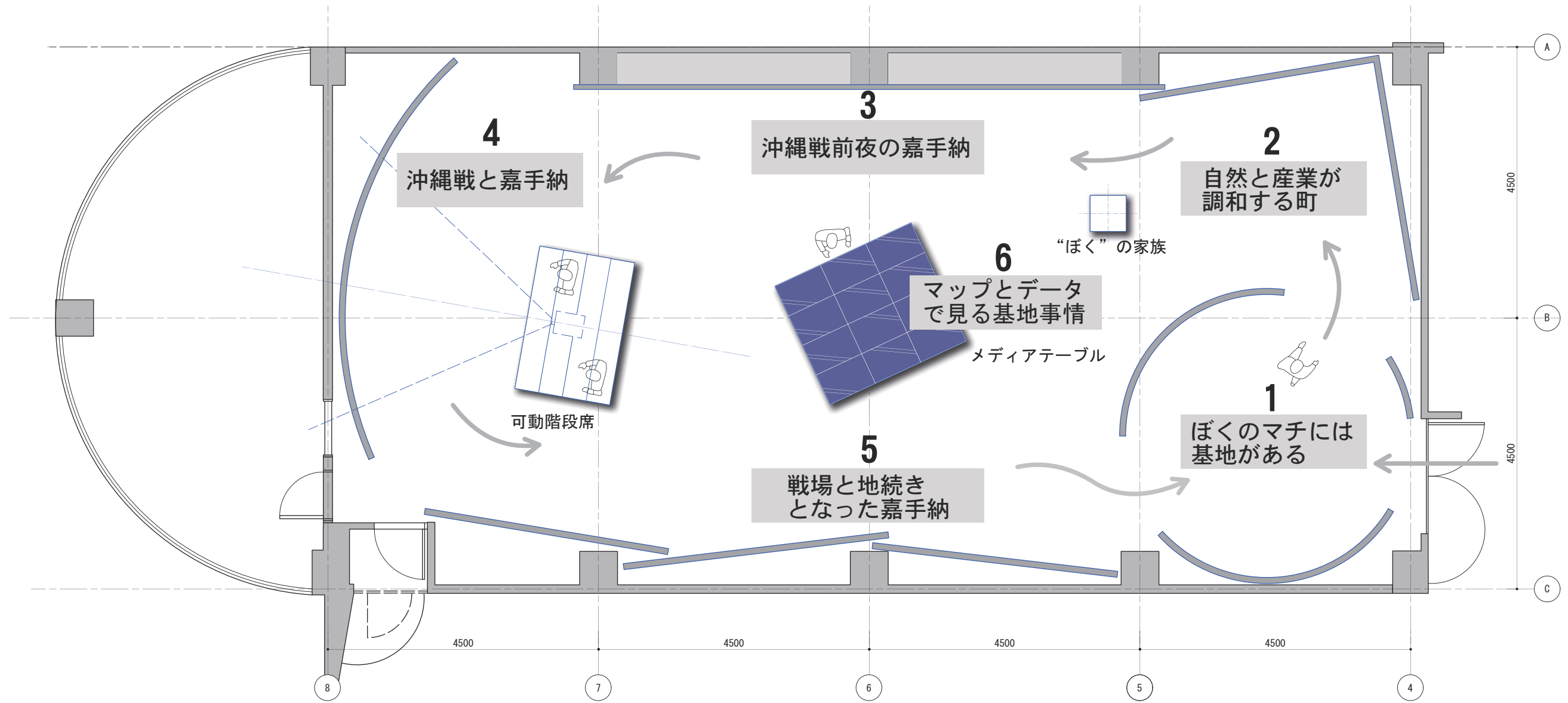
アジア太平洋戦争と沖縄戦の経緯

アジア太平洋戦争の経緯と、沖縄戦の経緯を、太平洋及び沖縄を俯瞰しながらたどる。

世界情勢と基地

冷戦以降の世界情勢を俯瞰しながら、沖縄の地勢的位置づけ・意味を探る。

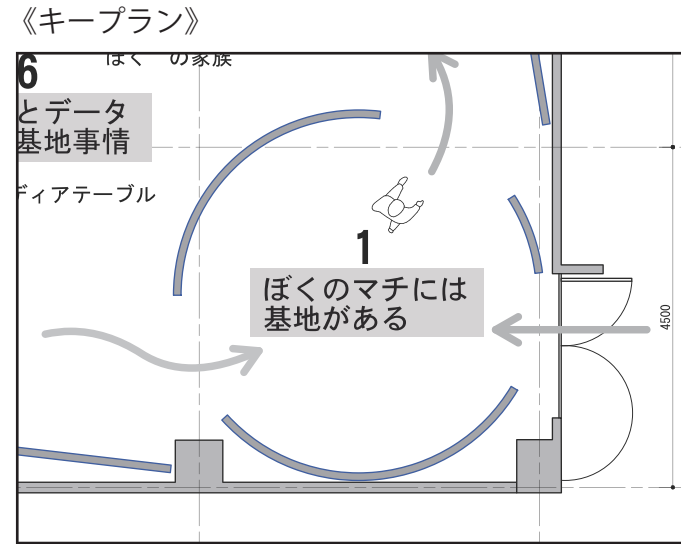
配置計画 (案)



各コーナーの展示構成 1

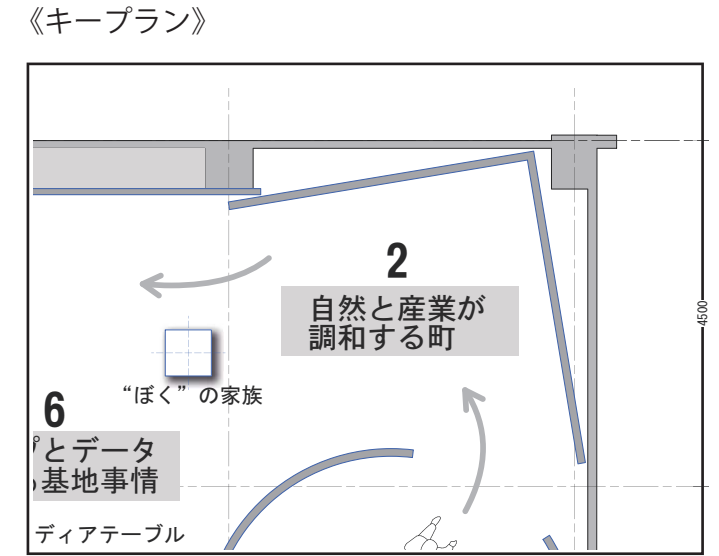
1、7 現在の基地 ぼくのマチには基地がある

- 来場者を最初に迎える場として、町の面積の約82%を米軍基地が占める、嘉手納町の現在の姿を航空写真やデータなどを使って分かりやすく紹介。
- 基地だけでなく、豊かな自然や文化があることなどにも触れる。
- 来場者を基地とともに歩んできた嘉手納町の物語に導く工夫として、生まれた時から基地のある町にいらしてきた「ぼく」を語り手とすることなども検討。
- 展示を一通り観覧した後、改めて、現在の基地のある町・嘉手納を見て頂く。
- 観覧を終えて退室する来場者に向けてメッセージを発信することも検討。

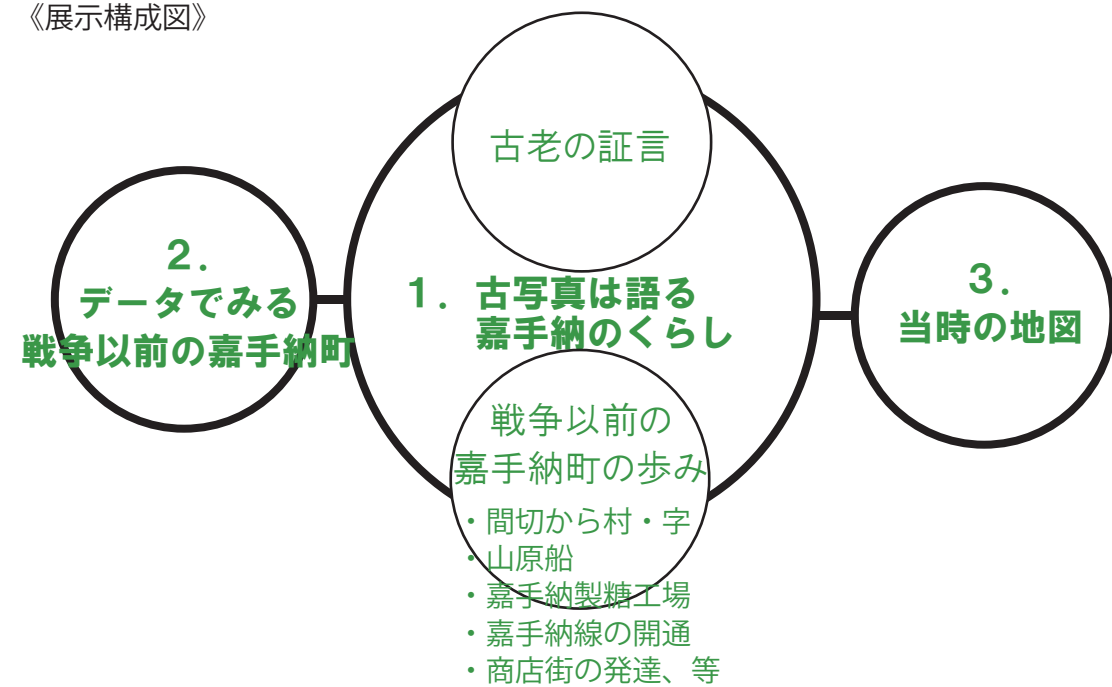


2 戦争以前の嘉手納 経済と教育の中心地・嘉手納町

- 現在の嘉手納町の姿から、一変して戦争前の嘉手納町へとタイムスリップ。かつての嘉手納町へと来場者を誘う。
- 豊かな自然に恵まれた嘉手納。加えて、本島のほぼ中央に位置するという地の利を生かして産業や商業、教育の中心として発展。
- 経済・教育の中心地として栄えた、かつての豊かな町の姿を古写真などを活用して、描き出す。



《展示構成図》



《参考ビジュアル資料》

・ 沖縄製糖工場株式会社嘉手納工場



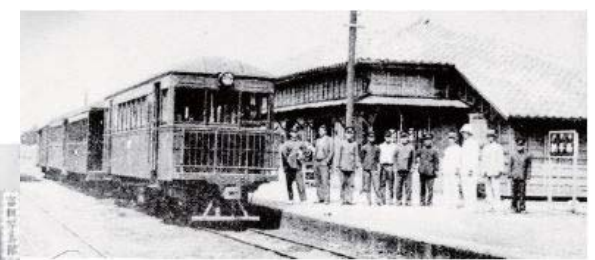
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p141 (2021年発行)

・ 嘉手納大通り商店街



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p145 (2021年発行)

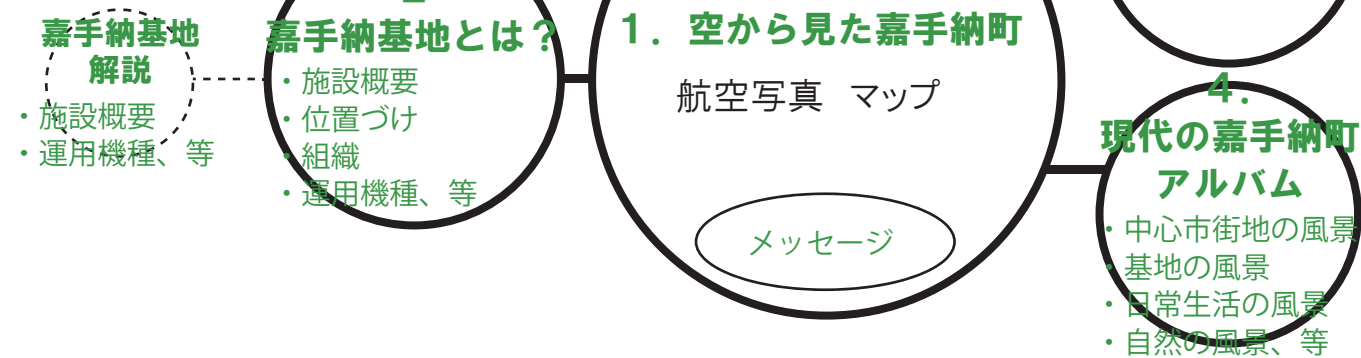
・ 軽便鉄道・嘉手納駅



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p143 (2021年発行)

《展示構成図》

※外部デッキに設置



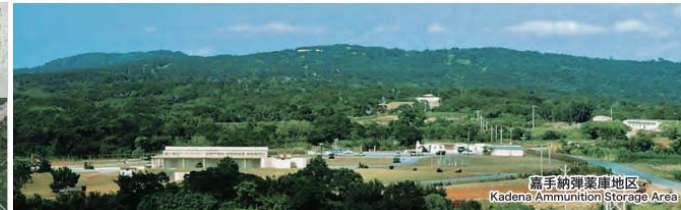
《参考ビジュアル資料》

・ 嘉手納町航空写真



出典：嘉手納町HP「嘉手納町と基地（令和2年度ダイジェスト版）」(2020) https://www.town.kadena.okinawa.jp/kadena/R02_kadenatokit05.pdf

・ 嘉手納弾薬地区



出典：嘉手納町HP「嘉手納町と基地（令和2年度ダイジェスト版）」(2020) https://www.town.kadena.okinawa.jp/kadena/R02_kadenatokit06.pdf



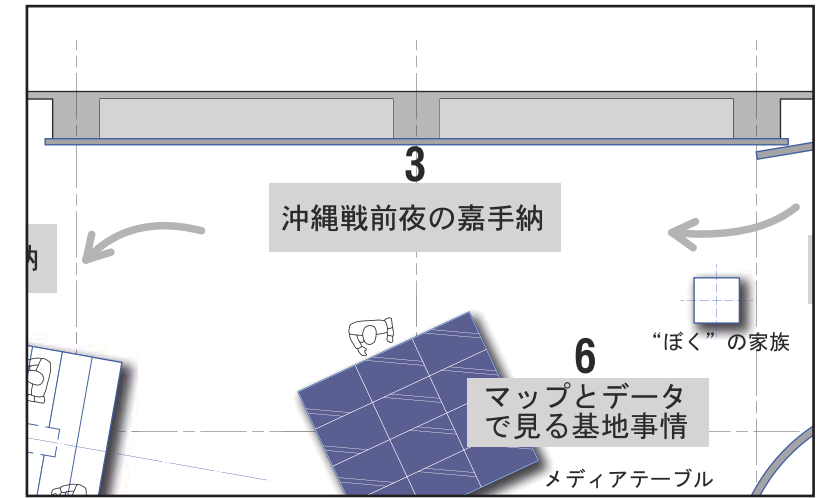
出典：嘉手納町HP「嘉手納町と基地（令和2年度ダイジェスト版）」(2020) https://www.town.kadena.okinawa.jp/kadena/R02_kadenatokit05.pdf

各コーナーの展示構成 2

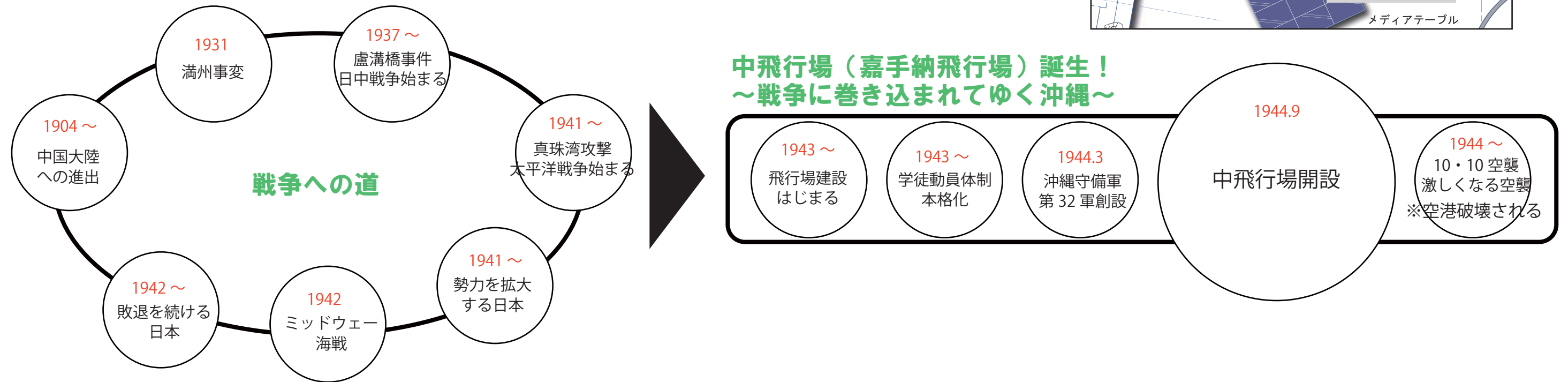
3 第32軍創設と飛行場建設 沖縄戦前夜の嘉手納

- 1941年、日本はアジア太平洋戦争に突入。マレー半島、スマトラ、フィリピン、ニューギニア、ガダルカナル等を次々に占領。しかしミッドウェー海戦を機に戦局が悪化、各地で敗退。
- こうした情勢を背景に、沖縄守備軍第32軍の創設、住民が駆り出されての県内各地の飛行場建設、県民が軍隊に組み込まれていく状況、10.10空襲等、沖縄が戦争に巻き込まれていく状況を、写真、資料、証言等を活用しながら物語る。

《キープラン》



中飛行場（嘉手納飛行場）誕生！ ～戦争に巻き込まれてゆく沖縄～



《参考ビジュアル資料》

・ハワイ真珠湾攻撃



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p147（2021年発行）

・ミッドウェー海戦



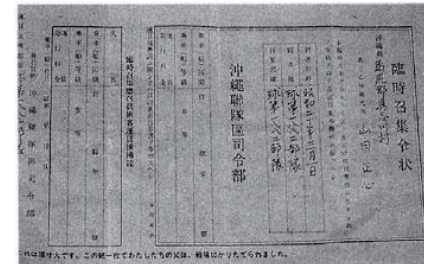
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p147（2021年発行）

・軍事訓練を行う日本兵



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p149（2021年発行）

・臨時招集令状（赤紙）



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p151（2021年発行）

・旧日本軍中飛行場



出典：嘉手納町HP「嘉手納町と基地（令和2年度ダイジェスト版）」（2020）
https://www.town.kadena.okinawa.jp/kadena/R02_kadenatokiti_03.pdf

・10・10空襲



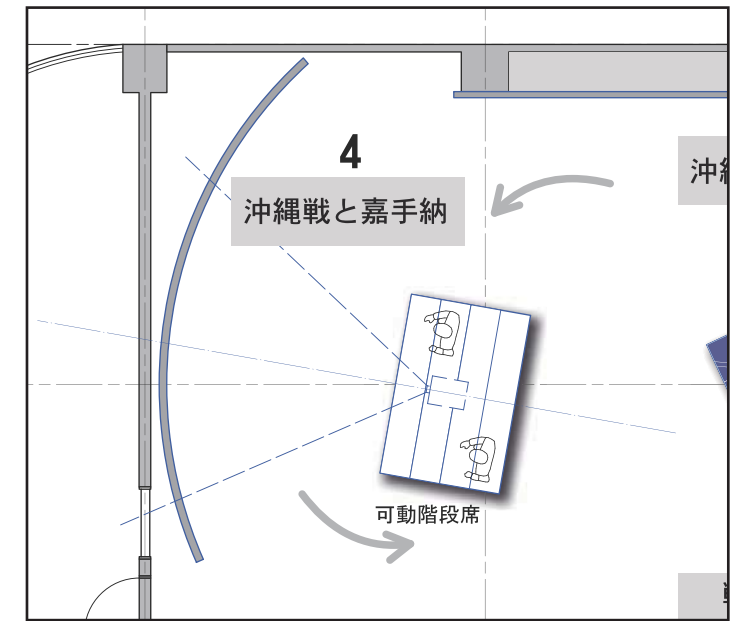
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p150（2021年発行）

各コーナーの展示構成 3

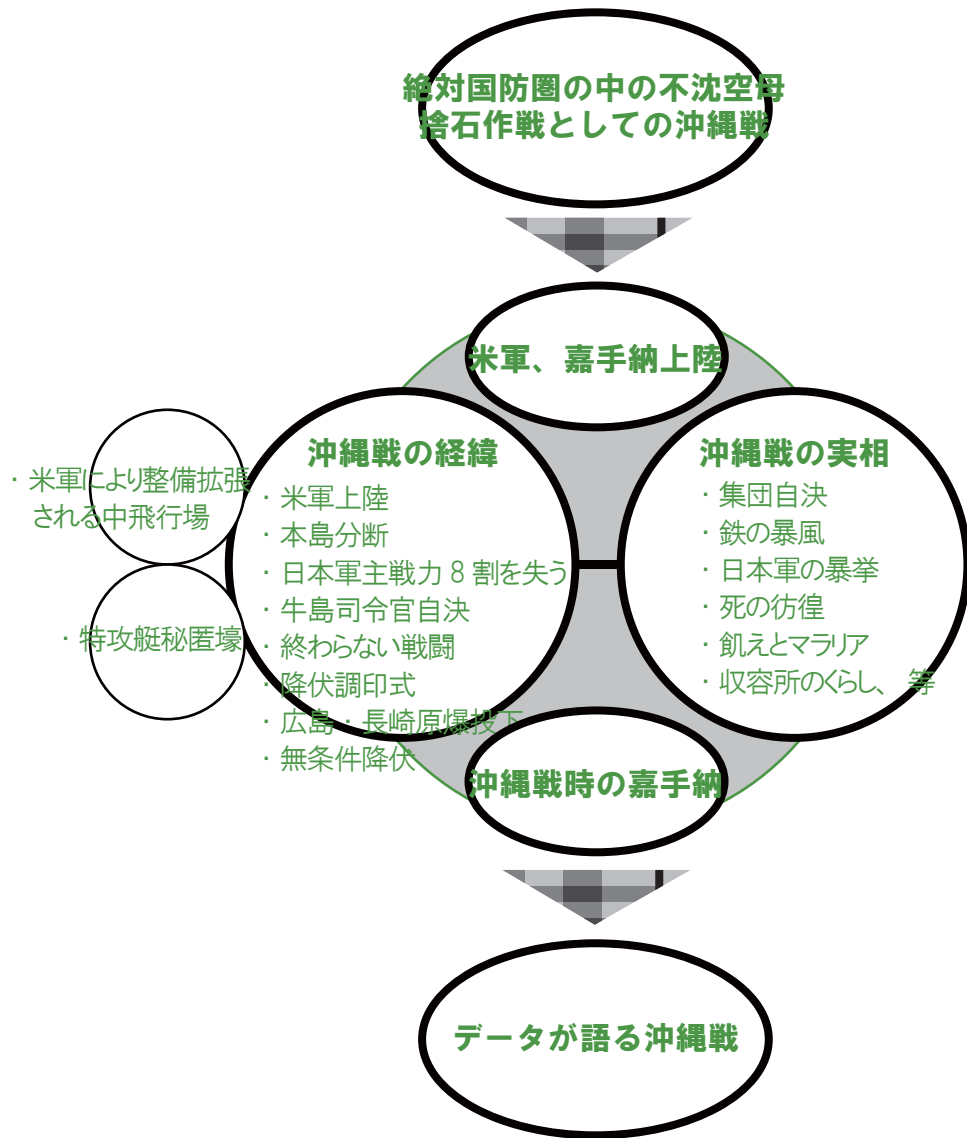
4 米軍に占領された飛行場 沖縄戦と嘉手納

- 1945年3月26日、米軍、慶良間諸島に上陸、4月1日、読谷山村から北谷までの海岸から本島に上陸。沖縄戦が始まる。
- 米軍によって占領され整備拡張されていく中・北飛行場や当時の嘉手納町の状況を伝えるとともに、沖縄戦の経緯やこの戦争が戦略持久戦として住民を巻き込んだ地獄の戦争であったことなど、沖縄戦の実相について物語る。
- 日本の降伏までを視野にいれる。
- 写真、動画、資料、証言等を活用して、ミニシアター的な展開を中核に据えた展示構成を想定。

《キープラン》



《展示構成図》



《参考ビジュアル資料》

・水蓋海岸から上陸する米軍



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p154 (2021年発行)

・米軍の上陸図



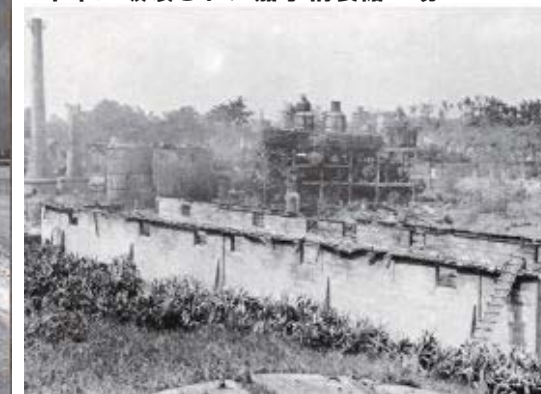
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p155 (2021年発行)

・米軍の飛行場建設



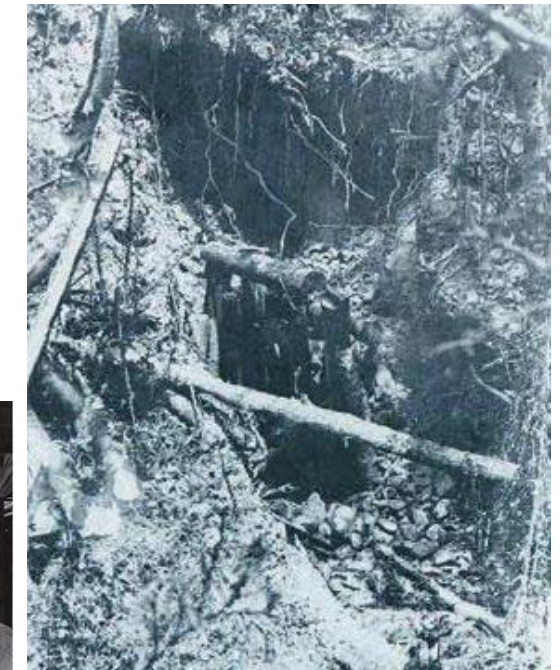
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p157 (2021年発行)

・米軍に破壊された嘉手納製糖工場



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p159 (2021年発行)

・くずれ落ちた海軍司令部壕



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p161 (2021年発行)

・火炎を浴びせる米軍戦車



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p160 (2021年発行)

・壕に爆弾を投げ込む米兵



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p160 (2021年発行)

・読谷長田橋を渡る米軍戦車



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p159 (2021年発行)

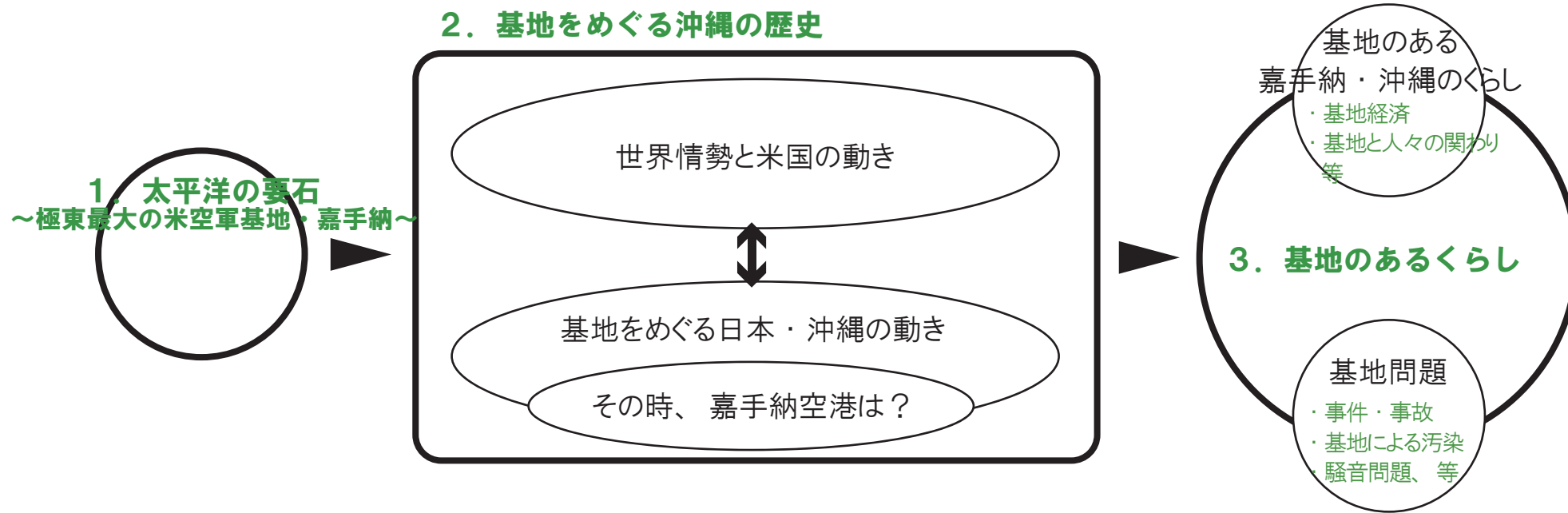
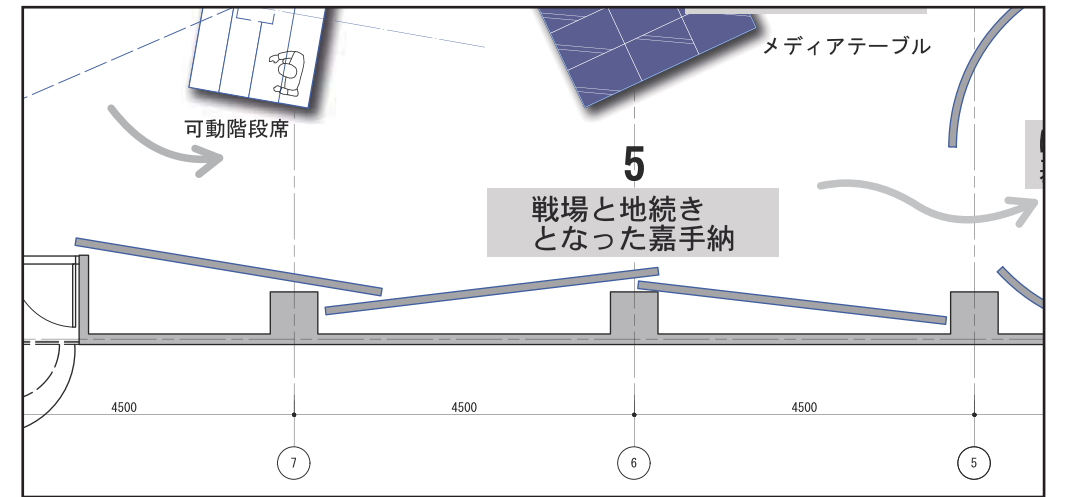
各コーナーの展示構成 4

5 戦後の嘉手納基地と嘉手納町 戦場と地続きとなった嘉手納

- 収容所から始まった沖縄の戦後の状況を物語るとともに、鮮明化してゆく冷戦の状況について辿りながら、これを背景として米国が押しすすめる沖縄県内への基地の整備拡張、及び沖縄の占領とその統治のあり方などを物語る。
- また、四原則や島ぐるみ闘争など、米国の強制的な土地収収に対する沖縄の人々の怒りと闘いを物語る。
- 朝鮮戦争やベトナム戦争で、嘉手納空港が前線基地として活用されていたことなどを伝える。
- 復帰後、冷戦終結後も縮小されない沖縄の基地とその背景を探る。

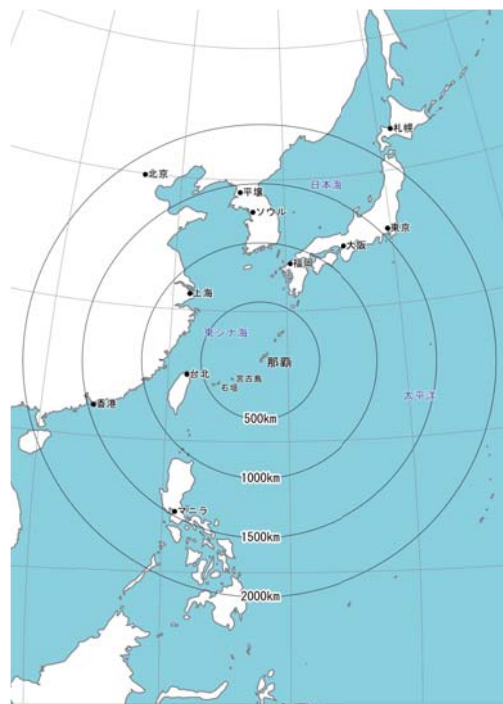
《展示構成図》

《キープラン》



《参考ビジュアル資料》

・沖縄の位置



出典：沖縄県 HP “沖縄の位置” (2018-07-11 更新)
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kikaku/tochitai/keikaku/okinawanoichi.html>

・収容所から始まった沖縄の戦後



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p168 (2021 発行)

・朝鮮半島仁川に上陸する米軍



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p177 (2021 発行)

・サンフランシスコ平和条約



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p178 (2021 発行)

・ブルドーザーで壊された家



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p186 (2021 発行)

・一括払いに反対する人々



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p186 (2021 発行)

・四原則貫徹県民大会



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p188 (2021 発行)

・ベトナムへ向け待機中の B-52



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p202 (2021 発行)

・宮森小 米軍ジェット機墜落事故



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p197 (2021 発行)

・復帰に対する抗議デモ



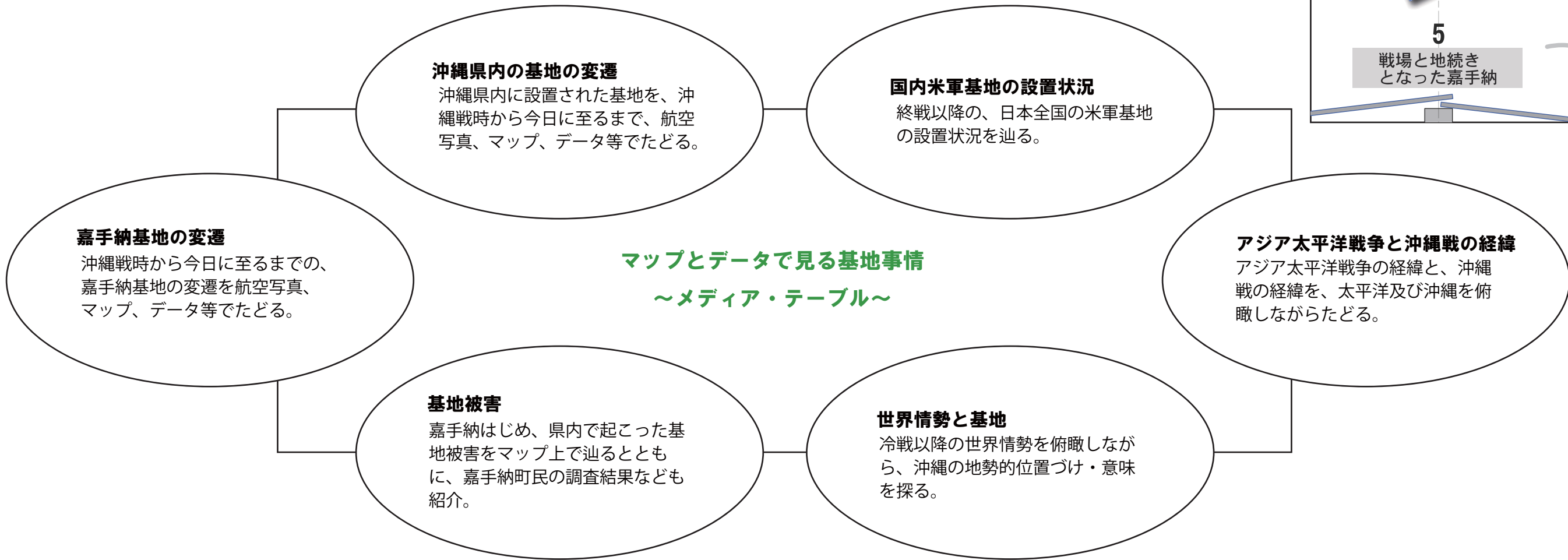
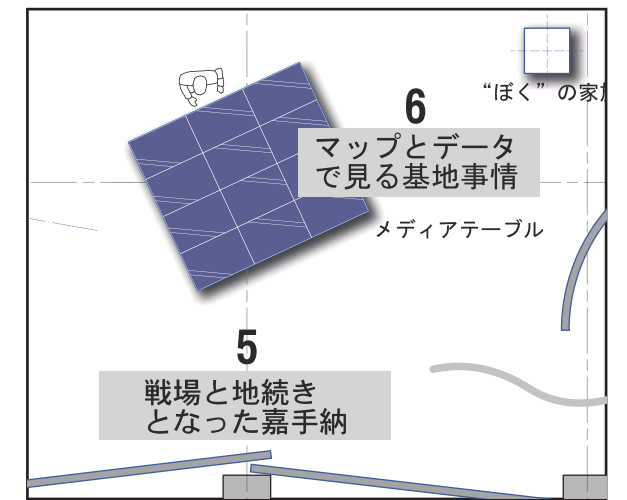
出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p208 (2021 発行)

各コーナーの展示構成 6

6 マップとデータで見る基地事情

テーマ毎に、嘉手納基地や沖縄、全国、世界等を俯瞰して捉えた映像とデータを元に経緯等を提示。

《キープラン》



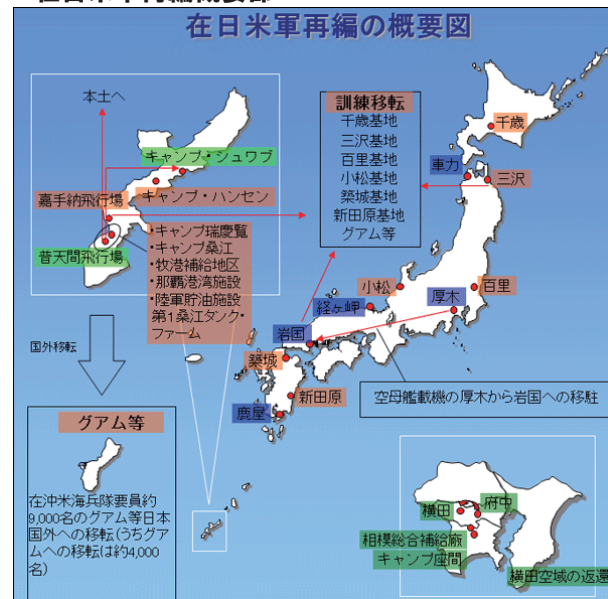
《参考ビジュアル資料》

・ 沖縄県内の米軍基地



出典：沖縄県 HP “沖縄の米軍基地” (2018-01-26 更新)
<https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/sugata/begunkichi.html>

・ 在日米軍再編概要部



出典：防衛省・自衛隊 HP “在日米軍に関する諸施設” (2021-03-03 更新)
<https://www.mod.go.jp/approach/zaibeigun/index.html>

・ 沖縄戦の経緯



出典：嘉手納町教育委員会「嘉手納町の歴史と文化」p155 (2021年発行)

・ 北大西洋条約機構 (NATO)



出典：外務省 HP 北大西洋条約機構 (NATO) (2021-01-23 更新)
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/nato/index.html>